

令和元年度

浜松学院大学

同窓会だより



浜松学院大学校歌

後藤一夫 作詞

奥村唯夫 作曲



と お か い の あ さ あ け も 一 え 一 て あ
ひ お く ま の の あ が や き お ー か ー に あ
よ の し お の い ま さ が ー け ー て す

お り そ う の か ぜ か お ー り え い ち の い ず み
い と ま そ う の は か な て た ー ね つ い ち う あ せ の
す む ぶ ん か の の か な を う ー み の そ か み は た か く

ふ き 一 あ げ る わ れ ら の ち か ら
ひ と 一 あ つ ぶ る わ れ ら の い の め ち
む ね 一 に な る わ れ ら の し め い

こ こ に た つ つ じ し の が く え
あ す お い ゆ く こ の ゑ め り た つ ほ こ の が く え
き す お い ゆ く こ の ゑ め り た つ ほ こ の が く え

ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く
ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く

校歌

後藤一夫 作詞
奥村唯夫 作曲

一、

東海のあさあけ燃えて
あおぐ理想の風かおり
英知の泉ふきあげる
われらの力
ここに立つ 挙りたつ

自主の学園 ああ
浜松学院大学

二、

曳馬野のかがやく丘に
愛とまことの花のたね
培う汗の一つぶが
われらのいのち
あすを呼ぶ 夢を呼ぶ

誇る学園 ああ
浜松学院大学

三、

世の潮にいまさがけて
すすむ文化の糧をうみ
のぞみは高く胸に鳴る
われらの使命
勢いゆく のびてゆく
栄えの学園 ああ

浜松学院大学

令和元年度

浜松学院大学同窓会

総会・懇親パーティ次第

【総会】

一、開会の辞

二、会長挨拶

三、理事長挨拶

四、学長挨拶

五、議事

・平成三十年度事業報告及び会計報告

・令和元年度事業計画及び予算

六、閉会の辞

【記念講演】

「二宮金次郎のひとづくり・まちづくり」

講師 リレイト代表 中桐万里子

【懇親会】

ビンゴ大会ほか

「二宮金次郎のひとづくり・まちづくり」 講師 リレイト代表 中桐万里子

かつて多くの小学校の校庭でみかけた、薪を背負って本を読む少年像でおなじみの二宮金次郎。意外と知られていない彼のその後の人生は、地味にコツコツ生きた優等生イメージとは大きく異なる明るく豪快なもの。

金次郎が生きたのは、この国が多発する自然災害に苦しんだ江戸の末期。努力が報われない厳しい現実の前で、ひとびとは生きる希望を見失い、活力をなくし、立ち止まっていました。そんななか金次郎は、実に600以上の村の復興・再建に携



わります。彼はこのとき、二つのものの復活が必要であったと語ります。一つが「心田」。つまり、未来への明るい想いや希望や幸福感、生きる意欲ややる気・・・といった人々のこころの復活。そしてもう一つが「田畑」。つまり、物理的・経済的な世界の復活。彼が人生を賭けたテーマとは、まさに「物心両面の豊かさの再生」だったのです。

あれから200年たった現代もまた、簡単には解決できない複雑で難しい問題が山積しています。一人ひとりが、どのようにイキイキと希望をもって生きるのか（ひとづくり）。そのパワーがまちを潤してゆくとはどのようなことか（まちづくり）。そうしたテーマを軸に、家族たちが伝えてきた金次郎の、とっておきのお話をうかがいます。

二宮金次郎（尊徳）から七代目の子孫である子育て支援グループ「リレイト」代表 中桐万里子さんを講師に迎え、現代社会に通じる「ひとづくり・まちづくり」に関して、できるだけ具体的なお話をもとに、展開していただきます。



同窓会
会長

伊藤 安男

ごあいさつ

本学を卒業した2万余名の卒業生の皆様、また日頃から学校に御支援、御協力、御理解をしていただいている関係者の皆様方に深く感謝を申し上げますと共に厚く御礼申し上げます。

昨年も卒業生の人数を書かせて頂きましたように、浜松市の人口約80万人とすれば約40人に1人は本学の卒業生であります。幼児教育を学んだ卒業生は保育をする為の知識や技術はもちろん、保育に対する使命感を他の人よりも多く持ち活躍しております。また商科や英語科、現代コミュニケーション学科や地域共創学科の卒業生は、政界や財界等で活躍している方もいれば家業や産業界等において浜松の商業をリードする方々等多くの人達が活躍しております。卒業生が地域で愛され信頼され

期待されております。その期待を出来るかぎり多くの人々に還元するような同窓会になるように努力を惜しみなく発揮し、母校の発展に大きく貢献する同窓会にしなくてはならないと考えます。また、最近卒業した同窓生においても活動を理解していただき後の世代に繋げていかなければと思う次第であります。

今後は同窓会としてこれまで以上に教育活動や部活動など様々な活動に支援をしてまいりますので、同窓生の皆様には、母校への御支援、御協力をお願いすると共に、新しい時代に誇れる母校に学生を紹介していただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会だより発行にあたり個人、企業の皆様の広告掲載の御協力に対し心より御礼申し上げます。



浜松学院大学
浜松学院大学短期大学部

学長 石田 勝義

ごあいさつ

浜松学院大学同窓会会員の皆様、いつも母校に対してお心遣いを賜り、厚く御礼申し上げます。どんな様もご壮健のこととお慶び申し上げます。

さて、本学の魅力と卒業後の展

望を明確に打ち出し、受験生とその親御さんが一人でも多く本学を受験して貰えるように、教職員一同一生懸命に取り組んでおります。

短期大学部は幼児教育科を開設して、昨年は51周年を迎えました。半世紀もの間、この地域の幼児教育教員の養成に務めてまいりました。私も教職員一同大きな喜びでございます。新たな歩みを始めております。住吉図書館にある幼児教育に係る書籍を短大部キャンパス内に移動して、学生たちがより利用しやすい環境に務めたり、トイレの改修を行い清潔感が溢れるようにしたりするなど、学生たちにとってより良く過ごしやすい学修環境になるように務め

ています。

現代コミュニケーション学部は開設16周年を迎えております。定員充足率が低い状態が続いていますが、31年度入学生の学生募集について、133人（前年度比34人増）の入学者を確保することができました。

県立短大の校舎を買い受けた時のままの校舎を使っていることから、学生たちにとって必ずしも学修環境が良いとは言えず、不自由をかけているところも見られます。高校生が激減している中で定員充足率を確保するためにも、可能な限り出来ることから見栄えの良い学修環境を整えていくことは急務と考えています。

同窓生の皆様にとって誇れる大学であり続けるように日々精進いたします。今後共ぜひ、皆様の物心両面にわたるお力添えを節にお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓会の益々のご発展と皆様の益々ご健勝を心からお祈り申し上げます。

浜松学院大学同窓会 平成30年度事業報告

本同窓会は、会員相互の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的として、次の事業を行った。

1. 同窓会総会・懇親会の開催

平成30年7月1日（日）、同窓会総会を開催した。平成29年度の事業報告、会計報告、平成30年度収支予算を提示した。コンサートならびに懇親会は企画委員会により企画され、来賓を含め120余名の参加者であった。

2. 同窓会報の発行

同窓会活動や収支決算報告、大学・短大の近況報告などの広報を目的とし、広報委員会において企画・編集作業を行った。平成30年度総会開催に合わせて発行し、出席者および協力企業等への配布を行った。

3. ホームページの更新

広報委員会において、同窓会Webサイトの更新を行った。

4. 会員情報管理ソフトの購入

会員データの検索、異動（住所変更等）など、事務局で会員情報を管理している。直接DM発送が可能となるなど、今後の会員へのサービス向上に活用していく。

5. 理事の補充

新たに4名の理事の就任について理事会で承認された。併せて各委員会の委員について会長より発表があり承認された。

6. 寄付・寄贈

大学・短大への教育支援のため寄付。学園祭模擬店出店売上金を学友会に寄付。卒業生に卒業証書ファイルを寄贈。卒業パーティー実行委員会に資金援助。

7. 諸会議および行事参加・列席

正副会長会、常任理事会、理事会の開催および必要に応じて各委員会を開催し、議題および事業遂行について協議した。また、大学学園祭への模擬店出店のほか、式典等への招待に対し正副会長が列席した。

日時	会議・行事
平成30年 4月3日 17日 19日	大学・短大 入学式 会計監査 理事会 平成29年度決算報告 平成30年度収支予算について 平成30年度総会について 理事会
5月17日	平成30年度総会について 理事会
6月22日	平成30年度総会について 理事会
7月1日	平成30年度 総会・懇親会 理事会
9月13日	平成30年度総会決算報告 平成30年度総会のふりかえり 年間スケジュールについて 常任理事会
11月8日	令和元年度総会について 共創祭への参加について 大学「共創祭」 模擬店出店 理事会・忘年会 令和元年度総会について 大学管理職を招待
12月13日	令和元年度総会について 大学管理職を招待
17日・18日	令和元年度総会について 大学管理職を招待
平成31年 1月19日	短大 表現活動研究発表会 理事会 令和元年度総会について 常任理事会
2月14日	令和元年度総会について 常任理事会
3月14日	令和元年度総会について 大学・短大 卒業式・卒業パーティー 同窓会入会式 新理事紹介 卒業証書ホルダー寄贈
18日	卒業証書ホルダー寄贈

共創祭に模擬店参加

同窓会では、11月17日の共創祭に模擬店「同窓会のドーナツ屋さん」を出店し、イベントを盛り上げる手伝いをしました。準備したドーナツは完売しました。



2018年の共創祭の様子

平成30年の総会・懇親会の様子



浜松学院大学

浜松市中区布橋3丁目2番3号 TEL 053-450-7000 FAX 053-450-7110

「地域の課題解決に
貢献する人材を育成」
現代コミュニケーション学部は、地域共創学科と
子どもコミュニケーション学科の2学科によって構成
されています。
地域共創学科は、「地域を知る」「地域から学
ぶ」「地域の課題解決に貢献する」をコンセプトに
し、現場に立脚した能動的な学びを通して、現代
及び将来に向け社会が求める人材を育成する学
科です。
子どもコミュニケーション学科は、幼児教育、保育、
初等教育、特別支援教育などの専門職の資格取
得を通して、時代や地域のニーズに応えられる教
育者や保育者、リーダーシップを発揮できる人材
を育成する学科です。



浜松学院大学
HAMAMATSU GAKUIN UNIVERSITY

●地域共創学科

「地域について多角的に学ぶ」

地域共創学科には、「地域政策専攻」「観光専
攻」「グローバル教養専攻」があります。
浜松市の地域課題を学び、地域課題に取り組
むための学術的知識と実践的知識・技術を身に付
け、社会の幅広い領域で活躍できる人材となるた
めの学科です。学科カリキュラムは現代の社会状況
を踏まえ、学生自らの興味と関心に応じて科目を
選択し、将来のキャリアと自分の生き方を関連付
けて学ぶことが出来るようになっています。

【取得可能な資格】
中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種
免許状（英語）
【教育課程内で取得支援する資格・検定】
公務員試験、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業
務取扱管理者、観光コーディネーター、TOEIC、IE
LTS、マイクロソフト オフィススペシャリスト（MOS）、
ITパスポート

●子どもコミュニケーション学科

「保育と教育を学ぶ」

幼稚園教諭・保育士を目指す「幼児教育・保
育専攻」と、小学校教諭・特別支援学校教諭を
目指す「小学校・特別支援教育専攻」がありま
す。

時代や地域のニーズに的確に対応し、リーダ
ーシップに優れた教育者・保育者となることができ
ます。4年間の学びには、充実した専門性の高い
講義に加え、直接子どもと関わる体験的なプログ
ラムが豊富に用意されており、教育者・保育者に
必要な実践力を確実に身につけることができます。

【取得可能な資格】

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種
免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学
校教諭一種免許状

就職先一覧

地域共創学科

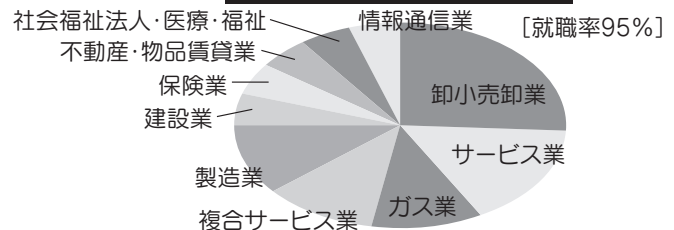
掛川市、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫、みずほフィナン
シャルグループ、遠鉄観光開発、呉竹荘、浜松日産自動車、一
色機材、安心堂、静岡県立高等学校、浜松市立中学校、浜松学
院中学・高校、静岡県警、愛知県警、浜松市消防局、遠州鉄道、
とびあ浜松農業協同組合、遠州夢咲農業協同組合、ローランド、
大和ハウス工業、ヤタロー、日本瓦斯、ヤマハモーターソ
リューション 他

子どもコミュニケーション学科

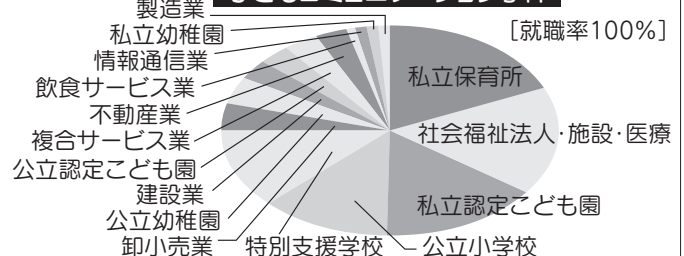
浜松市立小学校、東京都立小学校、静岡県立特別支援学校、
浜松市立幼稚園、磐田市立幼稚園、湖西市立幼稚園、浜松市
立保育所、磐田市立保育所、袋井市立保育所、アソカ学園、相
生学園、浜松平和学園、浜松児童福祉園、愛恵保育園、葵ヶ丘
保育園、明和会、あそび学園、ずだじこども園、浜松学院大学
付属愛野こども園、聖隷福祉事業団、天竜厚生会 他

就職データ

地域共創学科



子どもコミュニケーション学科



浜松学院大学短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号 TEL 053-473-6100 FAX 053-473-6196

● 幼児教育科

『子どもたちのために』

子どもとともに歩む

保育者を目指します』

幼児教育科は設立52年目をむかえました。開設して以来、優秀な幼児教育・保育の専門家を送り出し、長年にわたって培ってきた教育プログラムと、地域の保育活動に貢献する数多くの卒業生の存在など、確かな礎の上に立つ保育者養成校としての高い評価をいただいています。



また、キャンパスの近くには付属幼稚園、袋井市愛野には付属愛野こども園があります。実習はもとより日常的に子どもや保護者の方々と接することで、学生のうちから生きたコミュニケーションを学び、幅広い体験を積むことができます。

就職支援では、学生の希望と適性を見極めた支援を行い、成功をサポートしています。1年生4月の就職ガイダンスから始まり、作文やピアノ対策など、就職試験に直結する実践的な指導を行う「就職講座」を定期的に開催しています。その結果、高い就職率を実現しています。

短期大学部では、2年間で幼稚園教諭二種免許状、保育士資格を取得することができるので、早く社会に出て活躍したい人には最適です。

【取得可能な資格】

幼稚園教諭二種免許状、保育士、ピアヘルパー、ネイチャーゲーム・リーダー

スカラシップ給付制度

入試結果および在学中の学業成績による給付制度があります。

スカラシップⅠ類…授業料全額または

半期分給付(2年間)

スカラシップⅡ類…入学後に入学金相当額を給付

経済支援特別給費…授業料半期分給付(2年間)

特別給費生制度…2年進級時、成績優秀者に

10万円給付

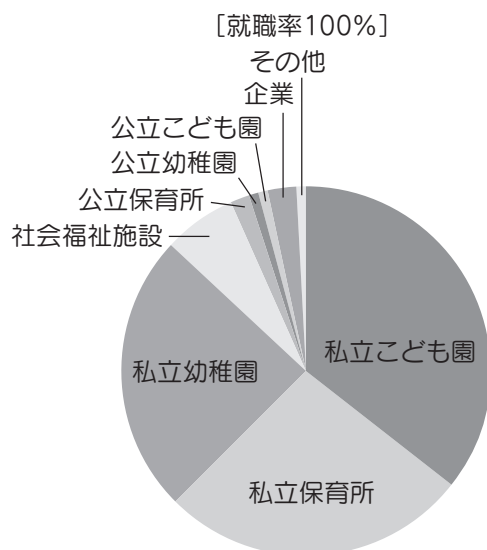
教育後援会奨学金…入学後に奨学金20万円を給付

就職先一覧

幼児教育科

【公立】浜松市(幼稚園・保育所)、磐田市(幼稚園・保育所)、湖西市(幼稚園・保育所) 【私立幼稚園】相生学園、アソカ学園、入野幼稚園、佐鳴台幼稚園、磐田聖マリア幼稚園(磐田)、オイスカシチャ日本語幼稚園(タイ)、蒲幼稚園、北浜幼稚園、湖東幼稚園、佐藤幼稚園、さなる幼稚園、志都呂幼稚園、富塚幼稚園、萩丘幼稚園、花園幼稚園、浜松葵幼稚園、普済寺幼稚園、山名幼稚園(袋井) 【私立認定こども園】愛野こども園(袋井)、市野与進こども園、おかさきこども園(湖西)、掛川こども園、桜木こどもの森(掛川)、掛川中央幼稚園・くるみ幼稚園(掛川)、風の子こども園、蒲こども園、ずだじこども園、聖隷福祉事業団、そらいろこども園、太陽こども園、たかつか光こども園、はあもにいこども園・みそらこども園、音の森こども園、ひくまこども園、微笑こども園(湖西)、平和こども園、まるづかこども園、若林こども園 【私立保育所】育米会(豊橋)、いずみ保育園、いずみ第二保育園、いずみ第三保育園(磐田)、WITH・彩保育会(埼玉)、掛川あそび保育園(掛川)、木下の保育園山下町(神奈川)、コピーソシオ・コピーアンドソシオ(東京)、新松戸ベビーホーム(千葉)、住吉第二保育園、聖隷福祉事業団、大東福祉会(掛川)、高丘保育園、つくし保育園(神奈川)、天竜厚生会、西貝保育園、風の森保育園(磐田)、はあとふる保育園(磐田)、浜松児童福祉園、浜松天使園子どもの家、ひまわり保育園、広瀬保育園(磐田)、細江保育園、摩耶保育園(周智郡森町)、みどり保育園、森のいえはまきた、わかば保育園、わかばみや保育園(藤枝) 【施設】花音、草笛の会(菊川)、光明学園、ステラ、ヒーリングハート 【企業】大手門うおそう(掛川)、栗田内科医院、

就職データ



学びの場は キャンパスの外にも

授業紹介／校外編

学内での講義、演習系の授業だけでなく、キャンパスを飛び出してリアルを学ぶ授業も充実しています。その中からいくつかを紹介しましょう。

―大学―

「春野町勝坂で在来種ソバの栽培・そば打ち体験会」

北遠フィールドスタディに参加している学生たちが春野町勝坂地区の地域おこしの一環で在来種ソバの栽培から収穫、それを利用したそば打ち体験会を開きました。

8月下旬に種を撒き、台風の影響や慣れない農作業に取り組みながら10月末に無事ソバを収穫、天日干しや脱穀作



業まで自分たちで行いました。12月には地域おこしをする大学の学生団体「やまびこチャレンジ」主催で、東フロリダ州立大学の学生らとともに手打ちそばを作り、国際交流も行われました。今後、東フロリダ州立大学の学生も定期的に勝坂地区を訪れ、浜松学院大学の学生とともに様々な活動を通して地域活性化について学ぶ予定です。

―短大―

「1年生 付属幼稚園訪問実習」

入学して、まだ2か月の5月下旬、1年生は付属幼稚園へ初めて訪問実習へ行きました。8名前後のグループに分かれ幼稚園の各クラスを訪問し子どもたちと触れ合いました。事前に子どもたちへの自己紹介も兼ねた出し物も用意。最初は緊張していた学生たちもすぐに幼稚園の雰囲気慣れ、元氣いっぱいの子どもたちと園庭で泥んこになりながら遊びました。講義での事前指導や幼稚園の先生たちのアドバイスは、今回の保育現場の体験と合わせこれから続く実習の基礎となります。



―短大―

「歴史学 浜松市博物館見学」

基本教育科目(ひろく教養科目といわれるものです)の「歴史学」を受講している学生44名が、浜松市博物館の見学に出かけました。この日は館内展示を中心に見て回りました。



「初めて来た」という学生から、「小学生の頃、校外学習で来たな」という学生まで様々。歴史学担当の和崎光太郎先生は博物館学芸員を8年務められた実務家教員です。学生は先生の指導のもとで主体的な学習に取り組んでいます。

浜松学院大学 男子バスケットボール部



浜松学院大学バスケットボール部を創設して2年目になります。一期生7名の部員から始まり、本年度は18名の部員が新たに加わり、総勢25名となりました。

プロバスケットボールクラブBリーグ「三遠ネオフェニックス」様の全面監修により、「大口真洋氏」を監督としてお迎えしたことで、全国から優れた技能や意欲を持った学生達が加わってくれました。今年は4月に行われた東海学生バスケットボール大会では2チーム編成で参加しました。愛知東邦大学、東海学園大学、中部大学と試合をしました。大差で勝ち進んだり、名古屋経済大学には僅差で負けたりしましたが、大きな成果を上げてくれています。SNS（YouTube）には「未来のインカレ優勝チーム」浜松学院大学急成長中と掲載されるなど、浜松学院大学の名が知られるという明るい話題になっています。

大口真洋監督が率いる「浜松学院大学バスケットボール部」の発展と活躍に今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

三遠ネオフェニックス

愛知県豊橋市を本拠地としてB.LEAGUEに所属するプロバスケットボールクラブ。bjリーグ時代には優勝3回。B.LEAGUEの初年度において、中地区2位でチャンピオンシップに出場した強豪クラブ。



プロバスケットボールクラブの全面バックアップが学生の成長をサポート！



監督・コーチや部活動運営までを三遠ネオフェニックスが全面監修。本学の男子バスケットボール部が、今話題のプロバスケットボールクラブの育成計画のもと、大会での飛躍を目指します。



運営会社のフェニックスにて3カ月の長期企業内留学を行い、プロクラブの経営・運営を学びます。



フェニックスが運営するバスケットスクール「ファイブスター」で、サポートスタッフとして、子どもたちにバスケットボール指導を行います。

男子バスケットボール部に所属している生徒さんをご存知でしたら、ぜひご紹介ください。

お問い合わせ先：浜松学院大学 入試・広報グループ 053-450-7117（入試広報センター直通）

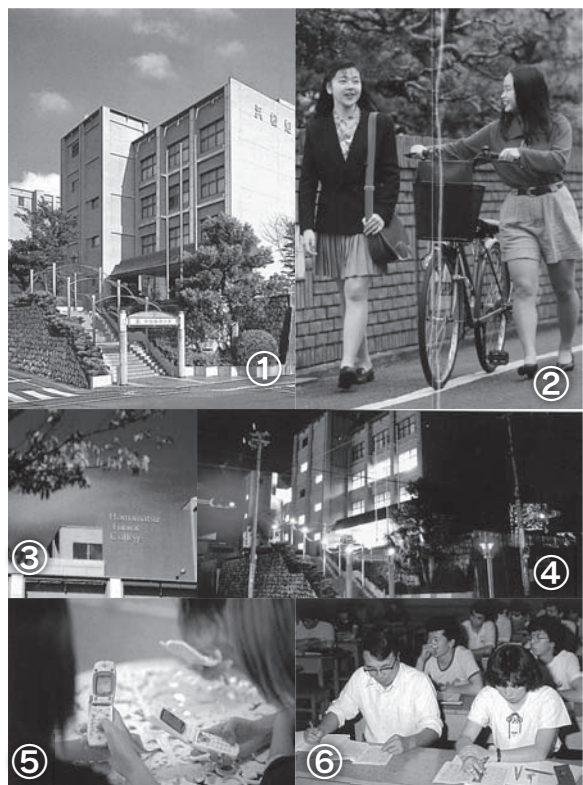
特集 懐かしき時代

卒業アルバムで振り返る1990年代

平成になりバブル絶頂期の経済から、バブルの崩壊に続く「失われた20年」といわれた長く続く不況へと突入した1990年代。街並みなどはすでに今に通じるものが多い中で特に変化したものはコンピュータやモバイル通信に関係する分野でした。

当時の短大の様子を卒業アルバムに残る写真からのぞいてみましょう。

校舎外観は現在とほぼかわりま



①1990年代の校舎外観 校名が違うぐらいです。 ②90年代前半のファッション。 ③校舎屋上の校名看板。写真ではわかりませんがまだ地色は赤く塗られてはいません。 ④夜の校舎外観。 ⑤普及初期の携帯電話。液晶画面も小さく、カラーでもありません。 ⑥商科Ⅱ部の授業風景

せん。特徴的なエントラランスの装飾アーチが階段に設置されたのもこの頃です。当時、商科Ⅱ部、幼児教育科Ⅱ部が開講されており、日が暮れてから明かりの灯る校舎が見られました。一時はⅠ部と同じくらい、年によつてはⅡ部の方が学生数が多いこともありましたが、時代とともに入学者が減り商科Ⅱ部は平成15年・幼児教育科は平成19年の卒業生を最後にその役目を終えました

1990年代はこれまで以上に学外との交流、地域への貢献が見直され、本学も「開かれた大学」として新たな道へ踏み出した時代です。

1992年、幼児教育科Ⅰ部に保育士課程を開設。幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を卒業時に取得できるようになりました。それに伴い旧3号館現在は解体に保育実習室や調理実習室が整えられました。



⑦調理実習の授業風景 ⑧旧3号館の調理実習室 ⑨海外語学研修は一ヶ月程ホームステイをしながら行われます。 ⑩オックスフォード・ブルックス大学との姉妹校提携調印式 ⑪夏季大学の様子 アクトシティコンgresセンターが会場でした。

海外語学研修プログラムに力を入れる英語科は1995年英国オクスフォード・ブルックス大学と姉妹校提携を結び、長期留学を可能としました。その後も次々と米国イースタン・ワシントン大学、英国マンチェスター大学とも提携し、話題を集めました。

また夏季大学や資格取得講座など一般向けの学びの場を提供しオープンアカデミーとして実施しました。

出来事

1990年

- ・大学入試センター試験開始
- ・バブル経済絶頂期

1991年

- ・ディスコジュリアナ東京オープン

1992年

- ・学校週5日制スタート
- ・日本人宇宙飛行士、毛利さんが宇宙へ
- ・東海道新幹線「のぞみ」が運転開始

1993年

- ・天皇陛下、雅子様と結婚
- ・Jリーグ開幕
- ・バブル崩壊

1994年

- ・松本サリン事件発生
- ・大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞
- ・TVドラマ「家なき子」の台詞
「同情するなら金をくれ」が流行語に

1995年

- ・阪神・淡路大震災
- ・地下鉄サリン事件
- ・Windows 95発売
- ・野茂が米大リーグで活躍 新人王も獲得

1996年

- ・アトランタ・オリンピック開催
- ・羽生善治が史上初、将棋のタイトル七冠独占を達成
- ・たまごっち（バンダイ）が流行

1997年

- ・消費税率を5%に引き上げ
- ・日本サッカー 悲願のワールドカップへの出場決める
- ・山一証券破綻

1998年

- ・冬季長野オリンピック開催
- ・映画「タイタニック」ブーム
- ・明石海峡大橋が開通（世界最長のつり橋）

1999年

- ・ミレニアムのカウントダウンが世界各地で催される
- ・犬型ロボット アイボ（ソニー）
- ・石原慎太郎が東京都知事に

時代を感じるといえば、デジタル機器の普及・進歩はこの頃目覚ましいものがありました。90年代初期には、ワープロ単機能専用機のワープロ室がありました。データの保存媒体はフロッピーディスクが主流。それがWindows95の発売とともにコンピュータが一気に広がり、学内にもPC環境が整えられました。それでも当時モニターはブラウン管型で現在の液晶パネルとは見た目もずいぶん違います。

当時から20年以上がたった今でも変わらないものもあります。少数教育を旨とするゼミナールなど、きめ細やかな短大のカリキュラム。これは、昔も今も変わらず一貫しており、アットホームな雰囲気の中で教育が行われています。また、幼児教育科学生の必須アイテム「実習服」。これも90年代初期からほとんどデザインが変わりません。他にも変わらないものがたくさんあります。子どもフェスティバルなど行事にそぐ情熱。登下校時などキャンパスに響く明るい笑い声。周囲のモノは時代とともに変化してもハマタンの本質は変わらないようです。



⑫ワープロ室 ⑬商科ゼミナール風景 ⑭幼児教育科の実習服 ⑮子どもフェスティバル 当時は中庭もイベント会場として使用していました。 ⑯登校風景

大学・短期大学部のイベント案内

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 大学祭

共創祭

令和元年11月9日(土)・10日(日) 於：浜松学院大学

浜松学院大学の大学祭は「共創祭」といいます。

「共創」とは人と人とのつながりや出会いから生まれる新しい創造力。共創祭は本学の学生だけのイベントではなく、他大学、高校、地域の方と共に創り、参加し、楽しむ大学祭なのです。同窓会も毎年模擬店を出店し、共創祭を盛り上げています。

主な催し物

- ・展示 DiCoRes ミュージアム
(子どもコミュニケーション学科企画・子ども向イベント)
地域交通サークル(鉄道研究)、創造サークル
陶芸作品展示・即売
- ・演舞 よさこいサークル遠州舞遊連、演劇サークル、エイサー 等
- ・模擬店 同窓会も出店予定
- ・受験希望者を対象とした「入試個別相談会」(共創祭開催時間中、随時応じます)

同窓生の方のご来場をお待ちしております。

※詳細は追ってHPにて紹介されます。



浜松学院大学短期大学部

子どもフェスティバル

令和元年10月27日(日) 10:00～
於：浜松学院大学短期大学部

学んだ成果を地域の子どもたちに発信する学生主体の交流イベントです。毎年秋、地域の子どもたちをキャンパスに招待して開催します。

今回で49回目になるハマタンの伝統あるイベントは、日頃の学びの成果を確かめる場でもあります。

企画から準備、運営まで学生が主体となって取り組む、手作り感あふれるハートフルな演出はみなさまに大好評です！

今年も各ゼミナールごとに工夫を凝らせた13のブースを用意しみなさんのお越しをお待ちしています。



同窓会活動の紹介

本同窓会は、会員の親睦や連携を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的として活動しております。

年1回の総会・懇親会の開催、会報「同窓会だより」の発行、ホームページの開設などにより、会員相互の親睦を図ることはもとより、学園祭への模擬店参加や助成、卒業生に対する証書ファイルの寄贈、卒業パーティーへの補助、卒業した年に開催する総会・懇親会への無料招待など、在学生に対する支援活動も行っております。

また、入学式や卒業式など、大学の主な行事へは、会長をはじめとする役員が出席し祝詞を述べる機会をいただいておりますが、卒業式の終了後には、同窓会への入会式を行い、会長から卒業生に対して、同窓会への入会を歓迎し、また今後の活動への協力をお願いしております。このような同窓会の様々な活動が、より充実して進められるよう、次の3つの委員会を設置しています。

企画委員会

企画委員会は、総会・懇親会、その他の事業の企画、立案や運営を担当する委員会です。

委員長、副委員長、委員で組織され、毎年同窓会総会の企画立案を担当しています。懇親会での抽選会（景品が当たるビンゴゲーム）やコンサート、アトラクションなど、会員相互の親睦を図るとともに、総会に来てよかったと思っていたいただける内容を企画しております。

今後、同窓会の活動をより多くの卒業生に理解していただき、同窓会総会に多くの卒業生が出席し、多くの人達が交流を持ち、みんなで母校を盛り上げていく、そんな企画立案をし、大学の発展につながる委員会を目指していきます。

会員組織委員会

会員組織委員会は、同窓会会員に関する問題や、同窓会組織や会則に関する問題について検討し、提案、改善を行うことを目的とした委員会です。

役割としては、組織、会則の見直しや、

会員名簿の発行に関すること、この委員会制度の導入についても同窓会会則に盛り込みました。また、5年に一度の会員名簿の発行業務を担当しております。

母校の発展に寄与するために、卒業生同士が親睦を深め、卒業生と学生、教職員の交流を図る場である同窓会総会に多数参加していただくよう、理事不在の卒業年から、理事の選出をお願いしております。

広報委員会

広報委員会は、同窓会の活動を広く会員の皆様にお知らせすることを目的とした委員会です。具体的な役割としては、年一回発行される会報「同窓会だより」の編集とホームページの運営です。「同窓会だより」発行の時期が近づいて来ると広報委員会の委員が集まり、掲載記事の選定や原稿の準備、紙面レイアウトの検討などを行います。原稿の依頼や確認など大変な仕事ですが、卒業生や大学の様々な情報に触れることができ、楽しみでもあります。

皆様の中で、こんな情報が知りたい、またこれを記事にしてほしい、という要

望等がございましたら、直接事務局へ、またはホームページを通じてお聞かせください。お待ちしております。

同窓会として会員の皆様のために、また母校の発展のために何ができるのか、会員の皆様とともに考え、活動が続けていくためには、多くの卒業生が会の運営に参画することが必要です。皆様の同窓会活動へのご支援を引き続きお願いいたします。

同窓会のホームページ

本同窓会の公式サイトを通じて同窓会の活動や、総会の案内などを積極的にお伝えしていきます。



浜松学院大学同窓会ホームページ

URL <http://www.hamagaku.ac.jp/dousoukai/>

浜松学院大学同窓会会則 第1章 総則 (名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会という。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 (事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 会員名簿の発行 (2) 同窓会報の発行 (3) その他、この会の目的を達成するために必要な事業 (本部及び支部) 第4条 この会は、本部を浜松学院大学内に置き、支部を必要な地域に設ける。 第2章 会員及び客員 (会員) 第5条 この会は、次の資格を有するものを会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもの。 (2) 前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。	(客員) 第6条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。 第3章 役員 (役員の定数) 第7条 この会に、次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 理事 各科各部の卒業回数合計数に相当する人員以内とし、各回の同窓生を代表する。 (4) 常任理事 理事合計数の3分の1以内 (5) 監事 2名以上4名以内 (役員の選任) 第8条 役員の選任は、次により行う。 (1) 会長、副会長、及び監事は、理事会の議を経て、選任する。 (2) 常任理事は、理事会において選出する。 (役員の任期) 第9条 (1) 役員の任期は、3年とし、総会を以て終了する。但し、再選を妨げない。なお、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 会長に関しては3選を認めない。 (役員の職務) 第10条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 会長は、この会を代表	(顧問、及び特別顧問) 第11条 会長は、この会の重要事項を諮問するため、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第9条を準用する。 (事務局) 第12条 会長は、この会の事務を処理するため、事務局を置く。 第4章 会議 (総会) 第13条 総会は、会員で構成し、理事会の決議事項を報告する。ただし、理事会が認めたときは、開催をとりやめることができる。 (理事会) 第14条 理事会は、会長、副会長、常任理事及び理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 2 (1) 理事会は、毎年2回以上開き、次の事項を決定する。 (1) 支部の承認	(常任理事会) 第15条 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 2 (委員会) 第16条 同窓会の事業を執行するため、「企画委員会」、「会員組織委員会」、「広報委員会」を置き、副会長及び常任理事、理事をもって組織する。また、必要に応じて新たな委員会を置くことができる。 2 各委員会の委員長は、原則として、副会長及び常任理事の中から会長が選任し委嘱する。 3 各委員会の委員は、必要に応じた人数とし、会長が会員の中から選任する。 4 各委員会は必要に応じて開き、次の事項について企画立案し理事会に諮る。 (1) 企画委員会…総会・懇親会、その他事業の企画立案、運営、予算作成 (2) 会員組織委員会…理事増員を図るため、その方法の考案と実践、及び会員名簿発行に関わる業務 (3) 広報委員会…総会開	(議事) 第17条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第18条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 会費 (2) 寄附金 (3) その他の収入 (会計年度) 第19条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 第6章 支部 (支部の結成) 第20条 会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。但し、支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員を置かなければならない。 (本部への報告) 第21条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部規則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。 第7章 補則 (規定にない細目) 第22条 この会則に規定のない細目は、理事会の議を経て会長が決定する。
--	---	---	---	--

附 則 昭和43年3月10日 制定 (臨時総会) 昭和43年5月3日 一部改正 (第1回通常総会) 昭和44年5月3日 一部改正 (第2回通常総会) 昭和45年5月3日 一部改正 (第3回通常総会) 昭和46年5月16日 一部改正 (第4回通常総会) 昭和59年5月27日 一部改正 (第17回通常総会) 昭和60年8月25日 一部改正 (第18回通常総会) 昭和61年8月24日 一部改正 (第19回通常総会) 平成2年8月19日 一部改正 (第23回通常総会) 平成5年8月1日 一部改正 (第26回通常総会) 平成8年8月11日 一部改正 (第29回通常総会) 平成10年8月29日 一部改正 (第31回通常総会) 平成18年4月8日 一部改正 (通常理事会) 平成20年6月27日 一部改正 (通常理事会) 平成25年6月20日 一部改正 (通常理事会)	浜松学院大学同窓会 掛川支部会則 第1章 総則 (名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会掛川支部という。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 (事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するために、本部の事業に協調する。 第2章 会員及び客員 (会員) 第4条 この会は、次の資格を有する者で掛川市に在住する会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもので、前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。 (客員) 第5条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。	第3章 役員 (役員の定数) 第6条 この会に、つぎの役員を置く。 (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 若干名 (3) 理事 若干名 (4) 会計 1名 (役員の選任) 第7条 役員の選任は、次により行う。 (1) 支部長、副支部長及び会計は理事会の議を経て選任する。 (役員任期) 第8条 (1) 役員任期は、本部役員と同期間とし、再選を妨げない。 但し、補欠のため選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 支部長に関しては、3選を認めない。 (役員職務) 第9条 役員職務は、次のとおりとする。 (1) 支部長は、この会を代表し、会務を総理する。 (2) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故がある時は、その職務を代理する。 (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。 (顧問、及び特別顧問) 第10条 支部長は必要に応じて、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第8条を準用する。 第4章 会議 (総会) 第11条 総会は、本部総会に参加すること、これに替える。	(理事会) 第12条 理事会は、支部長、副支部長、会計及び理事をもって組織し、年2回以上開催する。但し、支部長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 (議事) 第13条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第14条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 本部補助金 (2) 寄付金 (3) その他の収入 (会計年度) 第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 (会計監査) 第16条 この会の会計監査は、本部監事の監査を年1回受けるものとする。 (本部への報告) 第17条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部会則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。 第6章 補則 (規定にない細目) 第18条 この会則に規定のない細目は、本部及び理事会の議を経て支部長が決定する。 平成18年4月8日 制定(通常理事会) 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会) 附 則	浜松学院大学同窓会 ゴルフ会則 第1条 本会は浜松学院大学同窓会ゴルフ会(略称浜学同窓会ゴルフ会)と称する。 第2条 本会はゴルフを通じて会員の健康増強と相互の親睦を図ることを目的とする。 第3条 本会は浜松学院大学同窓会員及び興誠学園関係者のゴルフ愛好者をもって組織する。 第4条 本会には会長をおく。会長は会員より選出する。本会の会長の任期は2ヶ年とし、再選を妨げない。 第5条 本会は幹事をおく。幹事は優勝者及びブービー賞者の2名とし、会員各位への連絡事務・会計・次回開催の準備をする。 第6条 プレー費用は各人の負担とする。 第7条 会の運営は会員及び同窓会の補助金をもって。但し会費は参加者よりその都度徴収する。 第8条 ゴルフ競技会は年2回(春・秋)に開催する。 第9条 競技方法はダブルペリア方式とする。但し協議のうえ他の競技方法とすることができる。 第10条 賞は1位より3位迄及び参加賞とする。但し参加人員が3組以上になった場合には賞の範囲を広げることができる。 第11条 同点者ある時は年令・ハンディキャップ順とする。 第12条 競技は6名以上の参加をもって成立とする。 第13条 但し、ゴルフコースの都合により定員をもうけ、定員になり次第締切ることがある。 附 則 1 この会則は平成4年1月26日から施行する。 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)
--	--	--	---	---

平成30年度 収支決算書

(自 平成30.4.1 至 平成31.3.31)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	6,816,081	6,816,081	会議費	300,000	179,864
会員会費	2,808,000	2,808,000	懇親会費	250,000	200,353
預金利息	0	288	学生活動支援費	400,000	351,712
奨学金回収	0	110,000	寄付金	1,000,000	1,000,000
			証書ファイル	250,000	237,924
			消耗品費	10,000	10,000
			通信費	120,000	110,400
			印刷費	20,000	17,254
			慶弔費	120,000	100,000
			Web・会員ソフト維持費	170,000	163,728
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			事務局費	30,000	30,000
			総会費用	360,000	358,388
			予備費	6,544,081	0
			次年度繰越金	0	6,933,746
合 計	9,624,081	9,734,369	合 計	9,624,081	9,734,369

※科目間流用	科 目	当 初 予 算	増 減	予 算 額	予 算 超 過 理 由
	慶弔費	200,000	△ 80,000	120,000	
	通信費	100,000	20,000	120,000	資料等送付代
	総会費用	300,000	60,000	360,000	総会費用負担

監査の結果、いずれも適正且つ妥当であることを認めます。

平成31年4月17日

浜松学院大学同窓会

会計監査 氏 原 章 博

財産目録

(平成31年3月31日現在)

普通預金	浜松信用金庫 追分支店	9,921,746
	平成31年度入学生会費(249名分)	△ 2,988,000
	差引残高 (A)	6,933,746
定期預金	浜松いわた信用金庫	1,000,000
	(B)	500,000
	(B)	1,000,000
	(B)	1,005,352
奨学金貸付金(2名分)	(C)	114,000
合 計	(A + B + C)	10,553,098

上記の通り、収支および財産目録の報告をいたします。

平成31年4月18日

浜松学院大学同窓会

会 長 伊 藤 安 男
副会長 岡 本 護
同 川 島 多 賀 子
同 山 本 陽 子

令和元年度 収支予算書

(自 平成31.4.1 至 令和2.3.31)

収入の部			支出の部		
科 目	前年度決算額	予 算 額	科 目	前年度決算額	予 算 額
前年度繰越金	6,816,081	6,933,746	会議費	179,864	300,000
会員会費	2,808,000	2,988,000	懇親会費	200,353	250,000
預金利息	288	0	学生活動支援費	351,712	400,000
祝儀	0	0	寄付金	1,000,000	1,000,000
奨学金回収	110,000	0	証書ファイル	237,924	250,000
名簿販売	0	0	消耗品費	10,000	10,000
名簿作成剰余金	0	0	通信費	110,400	100,000
総会剰余金	0	0	印刷費	17,254	20,000
			慶弔費	100,000	300,000
			Web・会員ソフト維持費	163,728	170,000
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			事務局費	30,000	30,000
			総会費用	358,388	200,000
			予備費	0	6,841,746
			次年度繰越金	6,933,746	0
合 計	9,734,369	9,921,746	合 計	9,734,369	9,921,746

※科目間の流用を認めるものとする

〔同窓会役員名簿〕

〔会 長〕

伊 藤 安 男 (商Ⅰ21回)

〔副会長〕

岡 本 護 (商Ⅱ4回)

川 島 多 賀 子 (幼Ⅰ3回)

山 本 陽 子 (幼Ⅰ8回)

〔常任理事〕

曾 布 川 初 市 (商Ⅰ1回)

鈴 木 俣 稔 (商Ⅰ3回)

島 田 隆 吉 (商Ⅰ22回)

堀 内 陽 吉 (商Ⅰ26回)

三 沢 芳 弘 (商Ⅰ27回)

野 澤 貴 士 (商Ⅰ28回)

天 野 弘 美 (商Ⅰ34回)

永 田 敏 夫 (商Ⅱ10回)

加 茂 さ よ 子 (商Ⅱ28回)

中 村 さ ち 子 (幼Ⅰ2回)

伊 藤 道 子 (幼Ⅰ5回)

菊 地 美 香 (幼Ⅰ25回)

渡 辺 亜 希 (幼Ⅰ26回)

青 山 ひ ろ 子 (幼Ⅱ5回)

大 高 恵 美 子 (幼Ⅱ26回)

横 原 佑 太 (子Ⅲ3回)

〔理 事〕

加 藤 正 夫 (商Ⅰ4回)

日 山 泰 秀 (商Ⅰ5回)

大 石 睦 子 (商Ⅰ6回)

梅 田 武 宏 (商Ⅰ7回)

氏 原 道 雄 (商Ⅰ13回)

石 津 佐 一 郎 (商Ⅰ14回)

藤 田 成 孝 (商Ⅰ16回)

横 井 茂 等 (商Ⅰ18回)

水 野 道 郎 (商Ⅰ20回)

杉 山 道 誠 (商Ⅰ22回)

一 瀬 良 正 (商Ⅰ24回)

高 橋 良 正 (商Ⅰ29回)

山 本 絹 枝 (商Ⅰ29回)

和 久 田 政 子 (商Ⅰ31回)

鈴 木 一 吉 (商Ⅰ35回)

藤 井 利 和 (商Ⅰ38回)

小 松 征 夫 (商Ⅱ2回)

鈴 木 勝 俊 (商Ⅱ4回)

坪 井 勝 治 (商Ⅱ5回)

兼 子 春 男 (商Ⅱ6回)

野 末 和 久 (商Ⅱ6回)

平 野 由 男 (商Ⅱ6回)

加 藤 憲 於 (商Ⅱ13回)

永 田 秀 夫 (商Ⅱ29回)

渡 辺 雅 大 (商Ⅱ30回)

川 嶋 幸 子 (幼Ⅰ6回)

河 合 美 由 紀 (幼Ⅰ11回)

竹 内 映 晴 (幼Ⅰ32回)

宮 下 明 菜 (幼Ⅰ40回)

河 野 愛 (幼Ⅰ41回)

平 野 千 晶 (幼Ⅰ43回)

谷 元 美 和 子 (幼Ⅰ45回)

酒 井 侑 季 奈 (幼Ⅰ46回)

中 野 雅 章 (幼Ⅰ47回)

鈴 木 結 衣 (幼Ⅰ48回)

植 田 真 欧 (幼Ⅰ49回)

加 藤 ま ど か (幼Ⅰ50回)

高 林 愛 海 (幼Ⅰ51回)

太 田 佐 登 子 (幼Ⅱ15回)

元 井 和 久 (現Ⅱ2回)

近 藤 伊 代 (現Ⅲ3回)

森 山 千 裕 (現Ⅳ4回)

森 山 達 也 (現Ⅳ4回)

杉 浦 未 来 (現Ⅳ5回)

山 田 薫 (現Ⅳ5回)

和 久 田 友 之 (地Ⅰ1回)

森 龍 馬 (地Ⅱ2回)

鈴 木 は る か (地Ⅲ3回)

井 上 晃 成 (地Ⅳ4回)

鈴 木 康 太 (地Ⅴ5回)

村 田 拓 也 (地Ⅵ6回)

中 野 智 晴 (地Ⅶ7回)

建 部 光 由 (子Ⅳ1回)

馬 渕 文 香 (子Ⅳ1回)

押 木 留 奈 (子Ⅳ2回)

熊 切 祐 子 (子Ⅳ2回)

佐 山 竜 一 (子Ⅳ4回)

新 村 彩 華 (子Ⅳ5回)

小 倉 実 樹 (子Ⅳ6回)

上 村 友 子 (子Ⅳ7回)

関 安 彩 美 (子Ⅳ8回)

佐 々 木 琳 (子Ⅳ9回)

〔監 事〕

早 田 利 之 (商Ⅰ12回)

氏 原 章 博 (商Ⅰ13回)

〔顧 問〕

花 井 達 藏 (商Ⅰ7回)

大 村 弘 司 (商Ⅱ1回)

高 林 勇 式 (商Ⅱ1回)

吉 川 彰 (商Ⅱ4回)

〔掛川支部長〕

鈴 木 洋 司 (商Ⅰ18回)

〔掛川副支部長〕

久 保 田 ま さ え (幼Ⅰ5回)

萩 田 千 鶴 子 (幼Ⅰ5回)

〔掛川支部会計〕

増 田 芳 弘 (商Ⅰ27回)

浜松学院大学短期大学部（浜松短期大学）における年次別学科別卒業生数

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
昭和28	① 84		84	84							84		84	84
29	② 61		61	145							61		61	145
30	③ 76		76	221							76		76	221
31	④ 74		74	295							74		74	295
32	⑤ 70		70	365							70		70	365
33	⑥ 38		38	403							38		38	403
34	⑦ 25		25	428							25		25	428
35	⑧ 18		18	446							18		18	446
36	⑨ 36		36	482							36		36	482
37	⑩ 29		29	511							29		29	511
38	⑪ 34	① 102	136	647							34	102	136	647
39	⑫ 57	② 92	149	796							57	92	149	796
40	⑬ 78	③ 126	204	1,000							78	126	204	1,000
41	⑭ 64	④ 118	182	1,182							64	118	182	1,182
42	⑮ 67	⑤ 133	200	1,382		① 55	55	55			67	188	255	1,437
43	⑯ 79	⑥ 122	201	1,583	① 16	② 63	79	134			95	185	280	1,717
44	⑰ 75	⑦ 106	181	1,764	① 50	① 77	127	261			125	183	308	2,025
45	⑱ 63	⑧ 112	175	1,939	② 53	② 129	182	443			116	241	357	2,382
46	⑲ 47	⑨ 90	137	2,076	③ 49	③ 124	173	616			96	214	310	2,692
47	⑳ 58	⑩ 96	154	2,230	④ 45	④ 130	175	791			103	226	329	3,021
48	㉑ 72	⑪ 109	181	2,411	⑤ 51	⑤ 129	180	971			123	238	361	3,382
49	㉒ 80	⑫ 90	170	2,581	⑥ 90	⑥ 167	257	1,228			170	257	427	3,809
50	㉓ 101	⑬ 98	199	2,780	⑦ 110	⑦ 188	298	1,526			211	286	497	4,306
51	㉔ 113	⑭ 103	216	2,996	⑧ 111	⑧ 187	298	1,824			224	290	514	4,820
52	㉕ 162	⑮ 136	298	3,294	⑨ 153	⑨ 221	374	2,198			315	357	672	5,492
53	㉖ 163	⑯ 91	254	3,548	⑩ 201	⑩ 154	355	2,553			364	245	609	6,101
54	㉗ 163	⑰ 97	260	3,808	⑪ 226	⑪ 172	398	2,951			389	269	658	6,759
55	㉘ 146	⑱ 79	225	4,033	⑫ 170	⑫ 117	287	3,238			316	196	512	7,271
56	㉙ 148	⑲ 45	193	4,226	⑬ 217	⑬ 73	290	3,528			365	118	483	7,754
57	㉚ 149	㉑ 44	193	4,419	⑭ 206	⑭ 50	256	3,784			355	94	449	8,203
58	㉛ 123	㉒ 42	165	4,584	⑮ 186	⑮ 32	218	4,002			309	74	383	8,586
59	㉜ 142	㉓ 45	187	4,771	⑯ 197	⑯ 29	226	4,228			339	74	413	8,999
60	㉝ 127	㉔ 30	157	4,928	⑰ 167	⑰ 33	200	4,428			294	63	357	9,356
61	㉞ 127	㉕ 23	150	5,078	⑱ 128	⑱ 23	151	4,579			255	46	301	9,657
62	㉟ 82	㉖ 17	99	5,177	⑲ 85	⑲ 22	107	4,686			167	39	206	9,863
63	㊱ 121	㉗ 22	143	5,320	㉑ 134	㉑ 34	168	4,854	① 90	90	345	56	401	10,264
平成1	㊲ 160	㉘ 31	191	5,511	㉒ 131	㉒ 47	178	5,032	② 94	184	385	78	463	10,727
2	㊳ 166	㉙ 37	203	5,714	㉓ 135	㉓ 23	158	5,190	③ 99	283	400	60	460	11,187
3	㊴ 158	㉚ 39	197	5,911	㉔ 134	㉔ 27	161	5,351	④ 140	423	432	66	498	11,685
4	㊵ 160	㉛ 48	208	6,119	㉕ 143	㉕ 31	174	5,525	⑤ 143	566	446	79	525	12,210
5	㊶ 164	㉜ 46	210	6,329	㉖ 143	㉖ 32	175	5,700	⑥ 129	695	436	78	514	12,724
6	㊷ 160	㉝ 67	227	6,556	㉗ 148	㉗ 51	199	5,899	⑦ 130	825	438	118	556	13,280
7	㊸ 159	㉞ 56	215	6,771	㉘ 148	㉘ 47	195	6,094	⑧ 120	945	427	103	530	13,810
8	㊹ 153	㉟ 59	212	6,983	㉙ 152	㉙ 50	202	6,296	⑨ 116	1,061	421	109	530	14,340

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
卒業年	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
平成9	④⑤ 152	③⑤ 33	185	7,168	②⑨ 141	②⑨ 50	191	6,487	⑩ 99	1,160	392	83	475	14,815
10	④⑥ 133	③⑥ 34	167	7,335	③⑩ 141	③⑩ 46	187	6,674	⑪ 94	1,254	368	80	448	15,263
11	④⑦ 120	③⑦ 11	131	7,466	③⑪ 137	③⑪ 43	180	6,854	⑫ 95	1,349	352	54	406	15,669
12	④⑧ 131	③⑧ 20	151	7,617	③⑫ 140	③⑫ 34	174	7,028	⑬ 87	1,436	358	54	412	16,081
13	④⑨ 119	③⑨ 11	130	7,747	③⑬ 139	③⑬ 39	178	7,206	⑭ 67	1,503	325	50	375	16,456
14	⑤⑩ 119	④⑩ 13	132	7,879	③⑭ 145	③⑭ 32	177	7,383	⑮ 65	1,568	329	45	374	16,830
15	⑤⑪ 99	④⑪ 6	105	7,984	③⑮ 132	③⑮ 43	175	7,558	⑯ 46	1,614	277	49	326	17,156
16	⑤⑫ 94	—	94	8,078	③⑯ 129	③⑯ 49	178	7,736	⑰ 61	1,675	284	49	333	17,489
17	⑤⑬ 69	—	69	8,147	③⑰ 127	③⑰ 41	168	7,904	⑱ 45	1,720	241	41	282	17,771
18	—	—	—	8,147	③⑱ 143	③⑱ 47	190	8,094	—	1,720	143	47	190	17,961
19	—	—	—	8,147	③⑲ 137	③⑲ 27	164	8,258	—	1,720	137	27	164	18,125
20	—	—	—	8,147	④① 145	—	145	8,403	—	1,720	145	—	145	18,270
21	—	—	—	8,147	④② 146	—	146	8,549	—	1,720	146	—	146	18,416
22	—	—	—	8,147	④③ 129	—	129	8,678	—	1,720	129	—	129	18,545
23	—	—	—	8,147	④④ 127	—	127	8,805	—	1,720	127	—	127	18,672
24	—	—	—	8,147	④⑤ 154	—	154	8,959	—	1,720	154	—	154	18,826
25	—	—	—	8,147	④⑥ 146	—	146	9,105	—	1,720	146	—	146	18,972
26	—	—	—	8,147	④⑦ 153	—	153	9,258	—	1,720	153	—	153	19,125
27	—	—	—	8,147	④⑧ 142	—	142	9,400	—	1,720	142	—	142	19,267
28	—	—	—	8,147	④⑨ 136	—	136	9,536	—	1,720	136	—	136	19,403
29	—	—	—	8,147	④⑩ 132	—	132	9,668	—	1,720	132	—	132	19,535
30	—	—	—	8,147	⑤① 144	—	144	9,812	—	1,720	144	—	144	19,679
31	—	—	—	8,147	⑤② 122	—	122	9,934	—	1,720	122	—	122	19,801
合計	5,468	2,679	8,147		6,966	2,968	9,934		1,720		14,154	5,647	19,801	

※ 幼児教育科のうち、昭和41年度、42年度はその前身である興誠学園幼稚園教員養成所

浜松学院大学における年次別卒業生数

学科	現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科		現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科		地域共創学科		全体	
卒業年	卒業生数	累計	卒業生数	累計	卒業生数	累計	合計	累計
平成20	① 169	169					169	169
21	② 105	274					105	274
22	③ 102	376					102	376
23	④ 64	440	① 42	42			106	482
24	⑤ 39	479	② 44	86			83	565
25			③ 38	124	① 41	41	79	644
26			④ 44	168	② 38	79	82	726
27			⑤ 57	225	③ 44	123	101	827
28			⑥ 61	286	④ 37	160	98	925
29			⑦ 69	355	⑤ 25	185	94	1,019
30			⑧ 79	434	⑥ 37	222	116	1,135
31			⑨ 71	505	⑦ 18	240	89	1,224
合計	479		505		240		1,224	

令和元年度 教員一覧

浜松学院大学

管理職名	職名	氏名	専門分野
学長	教 授	石 田 勝 義	子ども家庭福祉、障がい児教育
現代コミュニケーション学部学部長	教 授	田 嶋 善 郎	精神保健、社会福祉
子どもコミュニケーション学科学科長	教 授	市 川 紀 史	学校経営学、教師教育学
地域共創学科学科長	教 授	津 村 公 博	英語教育学
図書館館長	教 授	戸 田 昭 直	ビジネス実務教育、ライフプランニング、簿記会計教育
	教 授	岩 見 良 憲	特別支援教育
	教 授	大 野 木 龍 太 郎	スポーツ社会学・スポーツ教育学・社会教育学（子どもの社会教育論）
	教 授	川 口 雅 也	アメリカ文学、英語圏大衆文化
	教 授	坂 本 雄 士	教科教育（算数・数学教育）、教育方法学、教育心理学
	教 授	高 久 新 吾	ピアノ・鍵盤楽器奏法、器楽合奏、音楽教育学
	教 授	田 中 健 二	観光ツーリズム、国際交流
	教 授	徳 増 幸 雄	地域政策
	教 授	横 山 孝 子	特別支援教育
	教 授	渡 部 い づ み	地域経済 産業論 特に浜松地域の地場産業研究
	准教授	石 野 純 子	保育実践 発達支援保育
	准教授	勘 米 良 祐 太	国語教育史、文法教育、作文教育
	准教授	竹 本 石 樹	教師教育、理科教育、カリキュラム開発
	准教授	光安アパレシダ光江	国際開発、国際貿易、ブラジル経済、ポルトガル語。
	講 師	浦 谷 淳 子	小学校英語
	講 師	小 山 内 秀 和	教育心理学、発達心理学
	講 師	筧 有 子	美術制作、美術・造形教育学、美術・造形実践研究
	講 師	小 佐 々 典 靖	社会福祉学、障害者福祉学
	講 師	迫 共	教育学、社会福祉学
	講 師	島 埜 内 恵	教育学、比較教育学、教育制度学
	講 師	柘 植 美 文	特別支援教育
	講 師	山 谷 清 秀	行政学
	助 教	井 上 遥	教育哲学、教育人間学、保育学
	助 教	小 楠 美 貴	児童、家庭福祉
	助 教	清 水 友 理 子	観光社会学、労働社会学
	助 教	鄭 玉 姫	観光学、観光地理学

浜松学院大学短期大学部

管理職名	職名	氏名	専門分野
短期大学部部長	教 授	金 子 容 子	英文学・英国口承文芸・英米児童文学
幼児教育科科長	教 授	芳 賀 亜 希 子	乳幼児心理学
	教 授	浅 井 潔	発達心理学、教育心理学
	教 授	今 井 昌 彦	教育学、教育工学、教育情報学
	教 授	永 岡 和 香 子	音楽と動きの教育
	教 授	山 本 孝 一	教育工学
	准教授	坂 田 温 志	社会福祉学（障害者福祉、児童家庭福祉）
	准教授	志 村 浩 二	嗜癇行動学、神経心理学
	准教授	中 本 富 士 乃	音楽教育、音楽療法
	准教授	橋 爪 け い 子	保育
	准教授	平 井 裕 也	ピアノ演奏法、音楽教育
	准教授	松 澤 俊 行	健康、体育、野外教育
	講 師	菅 澤 薫	美術教育、芸術学
	講 師	和 崎 光 太 郎	教育学、歴史学

地域共創学科 特別講義

一般の方々へ公開しています。

学生とともに様々な地域的话题に耳を傾けてみませんか。

大学とは、勉学に加え出会いや見聞を広げる貴重な場です。それは学生に限ったことではなく、大学に関わる全ての方、広く地域にいらっしゃる一般の方々にとっても同様であると考えます。

そこで、地域との連携に積極的に取り組む本学の授業は、この度一部を地域の方々に公開いたします。

公開される講座は、浜松地域の各界のリーダー・有識者の方々が、自分の理念、経営哲学、浜松地域の特性、将来への課題、そして未来を担う若者に伝えたいことを熱く語る『特別講義』です。

同窓生の皆様はもちろん、どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご受講ください。

日 程	講 師 名	職 名	講 義 テ ー マ
4月30日	秋 元 健 一	ドルフィンキッズプロダクション代表取締役	「街なかのにぎわいの創出に向けて」
6月 4日	三 井 いくみ	株式会社 mocha-chai 代表取締役	「浜松におけるグローバルな視点での取り組み」
7月 2日	小 林 芽 里	浜松 NPO ネットワークセンター事務局長	「浜松におけるSDGsと私たちの暮らし」
10月 8日	高 橋 秀 幸	株式会社 Re・lation 代表取締役	「ぬくもりの森の経営戦略について」
11月12日	小 川 力 也	総務省中部管区行政評価局静岡行政監視行政相談センター行政監視行政相談課長	「総務省の行政相談制度と行政相談委員制度について」
12月10日	鈴木恵梨香	浜松国際交流協会	「浜松における多文化共生」

場所: 浜松学院大学 1号館 1101講義室

時間: 16:20～17:50 (5限)

各回、開始10分前までに大学事務室にて受付をお願いします。

各回とも、事前申込は不要です。

どの回に参加しても、何回参加しても構いません。

※駐車場の台数は限りがございます。公共交通機関をご利用下さい。

過去の実施内容



浜松市 鈴木康友市長



浜松商工会議所会頭 大須賀正孝様



龍潭寺 武藤宗甫様

これまで、約40名の講師をお招きし、講義をして頂きました。浜松地域のリーダーによる熱い声は学生たちの心に響いている様子でした。また、多数のメディアにも取り上げられ、静岡新聞・中日新聞・NHK・ケーブルテレビなどにて本講義の様子が紹介されました。

税理士・行政書士・宅地建物取引主任

近藤 良夫

〒432-8015 浜松市中区高町205-11

電話 (053) 453-8707

FAX (053) 453-9350



かり

代表 河守 恭一 (高28回卒)

〒432-8045 静岡県浜松市中区西浅田1-10-8
TEL (053) 442-1200 FAX (053) 442-6768

学校用黒板、事務所用黒板、ホワイトボード
各種掲示板、看板

有限会社 不二黒板製作所

〒430-0904 浜松市中区中沢町21番地9号

TEL (053) 471-9010・FAX (053) 472-2493

静岡県知事免許(14)第2180号

宇野不動産株式会社

〒432-8023 浜松市中区鴨江四丁目2番17号

TEL 053-454-0711(代表) FAX 053-455-2345

URL <http://www.uno-re.com/>

E-mail info@uno-re.com

SoftBank

ソフトバンク浜松中央

〒430-0901

浜松市中区曳馬6丁目20-1

TEL: 053-478-5088

営業時間 AM10:00~PM8:00

定休日: なし

ソフトバンクサンストリート浜北

〒434-0041

浜松市浜北区平口2861

TEL: 053-584-2250

営業時間 AM10:00~PM8:00

定休日: なし



テレニシ株式会社 東海支店
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-10-19 丸の内南詰ビル2階
TEL: 052-201-5557 URL: <http://www.tele-nishi.co.jp/>



明光電気株式会社

〒435-0041 浜松市東区北島町25番地

TEL: 053 (421) 4611

FAX: 053 (422) 1187

<http://www.meikoh-me.co.jp>

浜松学院大学 からすぐそこ！ 送迎2分！

無料個人送迎完備

浜松市中区城北1丁目19番8号

いこーよ みんな

0120-154-307

<http://www.kamiike.co.jp>

まちなか教習

教習所



味に自信あり

味の江アズ

出前弁当

専門店

【徹底した衛生管理】強電解水殺菌システム導入

ご家庭・地域の皆様～事業所・オフィスまで
どちら様もお気軽にご相談・お電話下さい。

●幕の内弁当 ●仕出し料理 ●折詰料理

●オードブル ●洋食弁当 日替りお弁当

ご法事・お祝い・後会合・ご接待・行楽などに...

■定休日 月曜日 日曜日は前日までの予約注文のみ承ります
■営業時間 11:00~20:00(オーダーストップ19:30)

FAX 053-453-8243 浜松市中区蛸塚3丁目8-39(蛸塚中学校前)

電話でのご予約は
24時間承ります。

053-453-8233

こだわりの
国産銘柄米
100%使用

タウンページも
ご覧下さい
江戸松 検索

ハマタン・ホームカミングデイ

8/4(日)15:30~17:00

ハマタン幼児教育科52年間の卒業生の皆さんへ

皆さん、お元気ですか。私たち教職員は揃って皆さんと再会し、お話したいと願って「ホームカミングデイ」を企画しました。ぜひ、万障くり合わせて、いらして下さい。お待ちしております。

参加費無料！

ハマタンの卒業生 どなたでも参加OK！

《会場》 大学会館食堂

《内容》 15:30~15:45 52周年セレモニー

《内容》 15:45~17:00 ビュッフェパーティ

軽食、デザート、ドリンクなどご自由に！

教職員との語らいをお楽しみください！



お申込み

参加お申込みは、左の
QRコードにアクセスし
てください。

お申込み期限：7月25
日(木) まで

RICOH・NEC・SHARP・AMANO
事務器・事務用品・スチール家具

有限会社 森 文

浜松市中区向宿3丁目9-4

TEL<053>461-1243 FAX<053>461-7248

お風呂・洗面所・台所配管の清掃
粗大ゴミ(タンス等の大きなごみ)の収集
トイレのつまり修理



浜名環保(株)

湖西市坊瀬255-2

TEL:053-573-1102 FAX:053-579-3689

URL <http://www.hamanakanpo.clea-bldg.co.jp>



丸明建設株式会社

代表取締役 井谷 安秀

袋井市高尾町6番地の21 TEL (0538) 43-2221 FAX (0538) 43-2226

URL <http://www.marumei.co.jp/>

ISO 9001 : 2000



取扱保険会社

AIG損害保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社
損保ジャパン日本興亜株式会社
大同生命保険株式会社

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部

学生総合保険 取扱代理店

株式会社 エマ

浜松市中区元目町129-10オーリットビル2F

TEL<053>474-8200(代) FAX<053>474-8231

URL:<http://www.ema-hoken.com>

SPiC Salonは美と癒しと健康の「和」を楽しんで頂くサロンです。



スピックサロン 浜松西店

電話予約優先 浜松市西区雄踏町宇布見5147-1

☎ 053-596-0103 ☎ 0120-160103



株式会社 アサヒナ

〒430-919 静岡県浜松市中区野口町391番地
TEL (053) 461-2910 FAX (053) 461-7954

E-mail: asahina@kk-asahina.jp

FUJI XEROX

富士ゼロックス静岡株式会社

〒430-0928 浜松市中区板屋町 506 番地

TEL 053-455-3161 FAX 053-455-3771

YAKINIKU CUISINE



浜松市中区住吉1-4-16 ☎ 053-474-7427

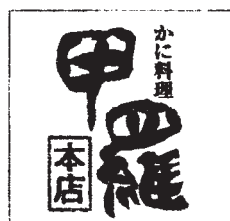


株式会社 SBS プロモーション

浜松支社 / 〒430-0927

浜松市中区旭町 11-1 プレスタワー 11F

TEL 053-456-0788



かに料理

浜松甲羅本店

〒432-8023

浜松市中区鴨江2-49-20

TEL 053-456-0051

社員研修は私たちにお任せください。

地元浜松で優良な研修を提供する 株式会社 エスエスブ레인

〒430-0939 浜松市中区連尺町 307-14 浜松連尺ビル 504

TEL: 053-455-3178 FAX: 053-455-6850

E-mail: ss-brain@ss-brain.com <http://www.123ssb.jp/>

各種新車・中古車販売

車検・点検・修理・板金・塗装
あいおいニッセイ同和損害保険㈱代理店
中部陸運局認証工場



(株)佐上商會

浜松市東区丸塚町94-1

TEL<053>464-8158(代)
FAX<053>464-2272

Print&Creation
広告する。

封筒や名刺などのビジネスツールから、チラシやDM、会社案内、
カタログなどの印刷物をコーディネート。
貴重な経験と知識を基に、デザインから印刷までお手伝いいたします。
またWebサイトやECサイトの企画・制作もトータルでサポートいたします。



- ◆各種印刷
- ◆デザイン構築
- ◆webサイト構築

有限会社 アイエヌジー
〒432-8056 浜松市南区米津町1180
TEL.053-441-5839 FAX.053-441-5839
090-5859-3336
E-mail/ ing@joy.ocn.ne.jp
URL/www.ing-ok.com

かんばん



有限会社

キヨシ看板店

TEL 461-1945

www.kiyoshi.jp



栄電気工業株式会社

〒430-0947 浜松市中区松城町200番地の6(美術館前)
電話<053>454-8371(代) FAX<053>452-9351



静岡県
D.School

セイブ自動車学校

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510
TEL 053-485-5511 FAX 053-485-2500



静岡県
L.School

セイブリフトスクール

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510
TEL 053-485-5972 FAX 053-485-5973

躍進する**NIKKO**グループ

太陽光発電・省エネ・電気・通信・情報・ITV・テレビ共聴
地上波デジタル・消防設備及びメンテナンス



日興電気通信株式会社

本社 浜松市北区大原町11番地 ☎(053)439-1125(大代) FAX(053)439-1135
静岡営業所 静岡市駿河区中野新田 57-60 ☎(054)266-6762(代) FAX(054)266-6763
東京営業所 東京都江東区杜丹1丁目15番5号 ☎(03)6411-1771(代) FAX(03)6411-1772

建築物・建造物の白アリ害虫駆除・清掃管理・清掃用品販売

株式会社サンワールド社

代表取締役 足立 清二 (商I部21回卒)

浜松市南区下飯田町209

TEL<053>426-1121 FAX<053>426-2178

建築・設備塗装一般

有限会社 ユウキ

代表取締役 市川隆久

〒432-8002 浜松市中区富塚町130-12

TEL (053) 471-9810 FAX (053) 471-9813

携帯電話・事務機器・パソコン教室

ヤマサン商会

浜松市浜北区本沢合1069 TEL053-586-4133 FAX053-586-4380

パソコン特価で販売します。インターネット接続まで親切指導致します。

まつり衣装 日本の祭り®



氏原株式会社

浜松市東区神立町131-7 TEL 053-464-1234

E-mail omatsuri_ouendan@ujihara.co.jp

=== 地域社会に貢献する ===

視聴覚・情報通信・セキュリティ

電通システム株式会社

〒430-0853 浜松市南区三島町104-1

TEL 053-441-3911 FAX 050-3730-0882

http://www.dslab.co.jp



HUMAN
AVCC
SYSTEM
COMMUNICATION

建築設計、監理



NIKKI

株式会社 ニキ計画工房

代表取締役社長 小 木 一 夫

浜松市中区曳馬五丁目24-50

TEL (053) 474-7640

FAX (053) 475-2175



Nail salon Nagi

- ジェル(手足同一料金) (60分) ￥5,040～
- ネイルケア 10本 (45分) ￥3,240～
- カラーリング 10本 (30分) ￥1,620～
- アート 1本 ￥200～

【営業時間】

平日 9:00～18:30

土・祝祭日 9:00～17:30

日 定休日

TEL&FAX

053-540-2630 (予約優先)

浜松市中区領家1-12-15 YOHZU 202

地域の式場

お通夜から、ご葬儀まで…

浜松葬儀では、経験豊富な「厚生労働省認定資格取得/葬祭ディレクター」が、責任を持ってお世話致します。

お通夜・ご葬儀から法要まで、利便性に富んだ14の会場から、お選びいただけます。

はまそう会館 北東三方町 天上界 ☎053-437-1231	はまそう会館 中区高丘北 高 丘 ☎053-420-4444	はまそう会館 中区向宿 浜松南 ☎053-411-4444	はまそう会館 中区曳馬 曳 馬 ☎053-476-4444	はまそう会館 東区篠ヶ瀬町 篠ヶ瀬 ☎053-423-4444	はまそう会館 東区半田山 半田山 ☎053-439-0964	はまそう会館 中区富塚町 富 塚 ☎053-478-4444
はまそう会館 中区森田町 森 田 ☎053-451-4444	はまそう会館 西区志都呂 志都呂 ☎053-448-4444	はまそう会館 西区志都呂東 志都呂東 ☎053-445-4444	はまそう会館 北区細江町 細 江 ☎053-522-4444	はまそう会館 北区引佐町 引 佐 ☎053-542-4444	はまそう会館 西区館山寺町 館山寺 ☎053-487-4444	はまそう会館 東区笠井町 笠 井 ☎053-434-4444



浜松葬儀株式会社

浜松市北区東三方町76
URL: <http://www.hama-so.co.jp>

TEL(053)437-1231

萬屋蒔蒔店

こんにやく・ところ天 製造・卸

浜松市中区天神町5-12 TEL 053-461-1588
463-1572
FAX 053-489-9303

(株)西遠蒔蒔

卸・浜松中央卸売市場

浜松市南区新貝町239-1 TEL/FAX 053-427-7506



呉竹荘

〒432-8036
静岡県浜松市中区東伊場1-1-26
TEL 053-453-1511
FAX 053-456-0897



CROSSDEVICE
株式会社 クロスデバイス

各種販促ツール

Webコンテンツの企画・制作

TEL:053-478-3388 FAX:053-478-3311

URL: <http://www.crossdevice.co.jp>

小籠包のうまい店

中 国 料 理

華 都

・ ・ 食べに来て ・ ・

浜松市東区有玉台4-7-3 TEL 053-581-9162

「あんなコトからこんなコトまで」

私たちはお客様の期待に応えるプロフェッショナルです。まずはご相談を。

「そうだ、桐屋に聞こう。」

【取り扱い品目】

一般伝票・連続伝票・OCR・会社案内・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・取扱説明書
DM・封筒・社内報・オンデマンド印刷・シール・ステッカー・ナイロン・ファイル・のぼり・看板・布印刷・シルク印刷
新聞広告・雑誌広告・ホームページ制作・運営・ラジオCM・CD制作・DVD制作・POP・ロゴ・パッケージ・広告の立案・制作・デザイン

桐屋印刷株式会社

〒432-8056 静岡県浜松市南区米津町1181
TEL. 053-441-4526 (代) FAX. 053-441-7809
URL <http://www.kiriya.co.jp>



浜松学院大学教育後援会からのお知らせ

平成16年4月の浜松学院大学の開学に合わせて、「浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 教育後援会」が発足し、同窓会員のみなさまから多くの会費、寄付金を頂戴いたしました。その資金は、開学の際に必要な設備購入のために使用され、備品として大学に寄付させていただいております。

その後、教育環境整備のための支援を主な目的として、同窓会員を正会員とする後援会組織と、在学生に対する教育支援を目的とする保護者会組織を分け、現在に至っております。この機会をお借りして卒業生のみなさまにご報告させていただく次第です。

本会は、浜松学院大学の教育方針に則り、教育活動及び教育環境の整備をもって大学の教育成果の向上に寄与することを目的とし、その目的を達成するために次の事業を行ってまいります。

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 学生教育の振興に関する事業
- (3) 本大学の地域社会貢献に関する事業
- (4) その他必要と認めた事業

また、本会は次の会員をもって組織し、会費の納入をもって会員とします。

- (1) 正会員 本大学の卒業生（同窓会員と認められた者）
- (2) 準会員 興誠学園の役員
- (3) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (4) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者
- (5) 協力会員 本大学に在籍する学生の保護者

同窓会員のみなさまには、是非とも母校発展のため、教育後援会会員としてご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

浜松学院大学教育後援会 会長 大村 弘 司

※ 事務局からのお願い

※ 上記の趣旨に賛同していただける方は、郵便振替払込書にて会費の納入をお願いしております。

- ・ 会費 1口 5,000円（できるだけ2口以上の納入をお願いいたします。）
- ・ 会費の納入をもって会員として登録させていただきます。

※ ご協力いただける方は、別紙郵便振替払込用紙に住所、氏名等をご記入いただき、本日総会・懇親会終了後のお帰りの際に受付までお申し出ください。
後日ご入会いただける場合は、ご面倒でも郵便局にてお支払いください。

※ お問い合わせ先

浜松学院大学教育後援会事務局（浜松学院大学内） 電話(053)450-7000

興誠学園のあゆみ

昭和 8 年 11 月 財団法人興誠商業学校設立認可 興誠商業学校開校

昭和 19 年 2 月 法人を財団法人興誠会に改組、戦時措置令により興誠航空工業学校に改称

昭和 23 年 4 月 新学制施行により興誠高等学校と改称、興誠中学校を併設

昭和 25 年 12 月 私立学校法制定により学校法人興誠学園に改組

昭和 26 年 4 月 浜松短期大学開学

昭和 27 年 4 月 浜松商科短期大学に改称、興誠商業高等学校に改称

昭和 42 年 4 月 浜松短期大学に改称、幼児教育科第一部、第二部開設

昭和 48 年 4 月 興誠高等学校に改称、浜松短期大学付属幼稚園開園

昭和 61 年 4 月 浜松短期大学に英語科開設

平成 7 年 4 月 興誠高等学校普通科を男女共学に

平成 16 年 4 月 浜松学院大学 (現代コミュニケーション学部) 開学、
興誠中学校開校

4 月 浜松学院大学短期大学部に改称

浜松学院大学付属幼稚園に改称

平成 19 年 4 月 浜松学院大学に子どもコミュニケーション学科開設

平成 21 年 4 月 浜松学院大学に地域共創学科開設

平成 23 年 4 月 浜松学院高等学校、浜松学院中学校に改称

4 月 浜松学院大学付属愛野こども園開園



昭和 42 年頃の高校の登下校風景



商科第 2 部 昭和 42 年度卒業生

興誠学園の教育研究体制



浜松学院大学

浜松市中区布橋 3 丁目 2 番 3 号
TEL 053-450-7000 FAX 053-450-7110



浜松学院短期大学部

浜松市中区住吉 2 丁目 3 番 1 号
TEL 053-473-6100 FAX 053-473-6196



浜松学院高等学校

浜松市中区高林 1 丁目 17 番 2 号
TEL 053-471-4136 FAX 053-471-4137



浜松学院中学校

浜松市中区高林 1 丁目 17 番 2 号
TEL 053-471-4136 FAX 053-471-4137



浜松学院大学付属幼稚園

浜松市中区住吉 1 丁目 22 番 5 号
TEL 053-472-5193 FAX 053-472-7080

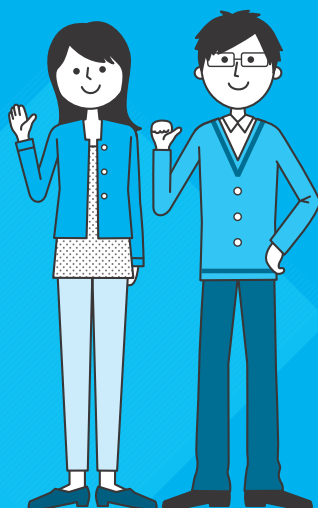


浜松学院大学付属愛野こども園

袋井市愛野南 2 丁目 2 番 3 号
TEL 0538-44-7800 FAX 0538-44-7801

浜松学院大学

現代コミュニケーション学部
子どもコミュニケーション学科・地域共創学科



地域の課題解決に
貢献する
人材を育成!



〒432-8012
静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号
Tel.053-450-7000
<http://www.hamagaku.ac.jp/hamagaku>

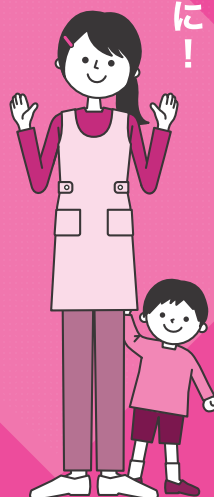


〒430-0906
静岡県浜松市中区住吉二丁目3番1号
Tel.053-473-6100
<http://www.hamagaku.ac.jp/hamatan>

短期大学部

幼児教育科

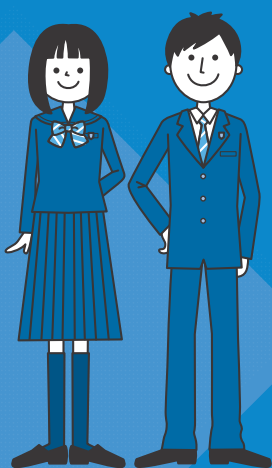
子どもと歩む
保育者に!



浜松学院 高等学校



マイビジョン教育で
自分の将来をプロデュース
「輝く未来の一步を踏み出そう」



〒430-0907 静岡県浜松市中区高林一丁目17番2号
Tel.053-471-4136 <http://www.szo-kosei-h.ed.jp>

浜松学院大学 附属幼稚園



無限の可能性を秘めた子どもたちに
心豊かな教育を



〒430-0906
浜松市中区住吉一丁目22番5番
Tel.053-472-5193
<http://www.hamagaku.ac.jp/kinder>

浜松学院大学附属 愛野こども園



知恵と力を出し合い
生き生きと遊べる子を
育てます

〒437-0040 静岡県袋井市愛野南二丁目2番3番
Tel.0538-44-7800 <http://www.hamagaku.ac.jp/kodomoen>



学校法人 興誠学園

法人本部
〒430-0907 静岡県浜松市中区高林一丁目17番2号
Tel.053-473-6110
<http://www.hamagaku.ac.jp/kosei/>